

堺 アルフォンス・ミュシャ館 企画展「アフィショマニ！ミュシャマニ！」を開催します

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、企画展「アフィショマニ！ミュシャマニ！」を以下のとおり開催します。

今もなお“収集欲”を掻き立てられる19世紀末パリのポスター文化に浸れる展覧会です。「収集」という側面から、ポスターが新たな芸術として価値を高めた様相を浮かびあがらせる試みです。当時のアフィショマニ（ポスターマニア）たちを熱狂させた ミュシャ・スタイルのポスターの魅力、ミュシャのデザイナーとしての手腕も存分にお楽しみいただけます。

1 企画展概要

展示会名	アフィショマニ！ミュシャマニ！
日時	令和6年8月3日（土）～令和6年12月1日（日） 開館：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）
休館日	月曜日、休日の翌平日 ※ただし、8月12・13日、9月16・23日、10月14日、11月4日は開館
場所	堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） （堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマーヂュ堺式番館）最寄駅：JR 阪和線「堺市」駅
観覧料	一般510円（410円）、高校・大学生310円（250円）、小・中学生100円（80円） *（ ）は20人以上100人未満の団体料金

※見どころや展示構成、関連イベントなど詳細については、別紙をご覧ください。

2 アルフォンス・ミュシャについて

- ・19世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。
- ・ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナール（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。
- ・1900年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。



アルフォンス・ミュシャ《ランスの香水「ロド」》

3 堺市とミュシャの関連について

- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 520 点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）の収集を基にしたものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。
- ・コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。
- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。
- ・また、堺で生まれ育った情熱の歌人・与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えます。

問 い 合 わ せ 先	（企画展について）
	担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興について）
	担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174



アフィショマニ! ミュシャマニ!

企画展

AFFICHOMANIA! MUCHAMANIA!

2024年8月3日（土） — 2024年12月1日（日）

集めて、愛でて、語り合う

19世紀末パリのポスター収集熱

概要

今もなお“収集欲”を掻き立てられる19世紀末パリのポスター文化に浸れる展覧会。「収集」という側面から、ポスターが新たな芸術として価値を高めた様相を浮かびあがらせる試みです。当時のアフィショマニ（ポスターマニア）たちを熱狂させたミュシャ・スタイルのポスターの魅力、ミュシャのデザイナーとしての手腕も存分にお楽しみいただけます。

展覧会名	企画展「アフィショマニ！ミュシャマニ！」
会期	2024年8月3日(土)から2024年12月1日(日)まで
会場	堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）
開館時間	午前9時30分から午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日、休日の翌平日（9月17日・9月24日・10月15日・11月5日） * ただし8月12日・8月13日・9月16日・9月23日・10月14日・11月4日は開館
観覧料	一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円) * ()は20人以上100人未満の団体料金
主催	公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館
後援	在堺チェコ共和国名誉領事館
協力	三重県立美術館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、シマノ自転車博物館、OGATAコレクション、鶴身印刷所、いなだ石版印刷所

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：原田、川口、高原
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶



見どころ

①『ポスターの巨匠たち』48点を一挙公開！

人気のポスターをハンディタイプに縮小し、収集家向けに販売された版画集『ポスターの巨匠たち』から1895年の収録作品を公開します。

②パリのトップ・デザイナー・ミュシャ

ミュシャの画業で語る上で外せないパリ時代の商業デザイン。ポスターから装飾パネル、ジュエリーに至るまでパリの日常をうるおしたミュシャ・スタイルの世界をご堪能いただけます。

③リトグラフを特集展示！

ポスター、装飾パネル、絵葉書に雑誌、19世紀末の印刷を支えたリトグラフ技術を紹介。ミュシャ、シェレ、ロートレック、画家と印刷所の関係や表現の違いにも注目です。

同時開催

much
ョシヤ
Labo

ミュシャLabo#05 「特集！リトグラフ」

ミュシャのポスターはどうやって印刷されていたの？
何種類の版があるの？

作品の身近なギモンにせまるミュシャLaboシリーズ第5弾は、みんなが気になる「リトグラフ印刷」の技法、魅力を特集します。リトグラフ研究者・稲田大祐氏協力による《罌粟(ケシ)と女性》色分解(実験)にも注目です！

関連
イベント

【1】子ども向け！「リトグラフってなあに？紙平版画をやってみよう！」

描いた絵がそのまま版画になる!?紙の版を使ってリトグラフのしくみを体験。

日時：2024年8月17日(土)、18日(日) 各日10：30～(2時間程度)

講師：稲田 大祐氏(相模女子大学 教授)、稲田 恵理子氏

定員：10名(申込先着順、受付開始7/23(火))

対象：小学校4年生～中学校3年生

参加費：500円(材料費・完成後の小さな額・印刷物の持ち帰り含む)



【2】大人向け！「プチ石版でリトグラフ講座」

10cmほどの小さい石を使ってリトグラフ作品を作ります。当時の印刷工気分も体験。石を磨き、描き、製版し、刷る、印刷の工程をリトグラフ研究者・作家が実演を交えレクチャーします。

日時：8/16(金)、8/17(土)、8/18(日)、9/28(土)

各日13：30～(2時間半程度)

講師：稲田 大祐氏(相模女子大学 教授)、稲田 恵理子氏

定員：6名(申込先着順、受付開始7/23)

対象：高校生以上

参加費：4,000円(材料費・完成後の小さな額・印刷物/石の持ち帰り含む)



【3】どなたでも！「リトプレス機でミュシャを刷ってみよう！」

学芸員が手動のリトプレス機で石版刷りを実演します。

日時：8/4(日)13:30～、8/16(金)、8/23(金)、8/31(土) 各日11:00～

9月以降も不定期で実施予定。当館HPでお知らせします。

参加費無料、事前申込不要



※イベントの参加には、本展会期中の鑑賞券(半券可)の提示が必要です。

※別途「学芸員による解説ツアー」も実施予定。

※イベント申込方法など、詳細については当館HPをご確認ください。

※ホームページは随時更新します。

※画像はイメージです。

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市立文化館) 担当：原田、川口、高原
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶

